

保育園 1図 B-8

天神福祉会 あけぼの保育園

■別府市南的ヶ浜町4-11
 ■TEL:0977-22-0843 ■FAX:0977-75-8180
 ■URL:http://www.akebonohoikuen.net/

くらし・サービス 4図 E-2

公益社団法人 **別府市シルバー人材センター**
 理事長 中尾 薫

高齢者の豊かな経験と能力を生かしてみませんか

■別府市亀川浜田町12番4号
 ■TEL:0977-78-2200 ■FAX:0977-78-2201

公共

別府市暴力絶滅対策協議会

・暴力団を利用しない ・暴力団を恐れない
 ・暴力団に金を出さない ・暴力団と交際しない

■別府市上野町1番15号（防災危機管理課内）
 ■TEL:0977-24-7941

暴力追放
 別府市暴力絶滅対策協議会

くらし・サービス 6図 D-3

《しごと・くらしのなんでも相談》
 べっそつきくにさきちく

別速杵国東地区ライフサポートセンター

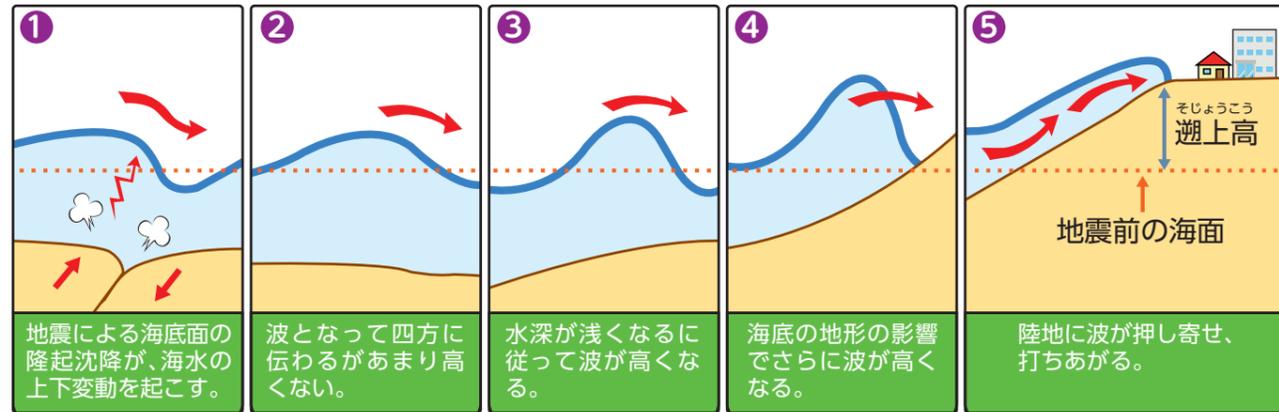
日常生活の中で起こるいろんな悩みや問題をライフサポートセンター相談員が電話と面談による対応を行います。

■別府市南庄園町1組 別府地区労働福祉会館1F
 ■TEL:0977-26-3155 ■FAX:0977-21-7505

津波対策

海岸近くに住んでいる方だけでなく、いつ、どこにいるときに発生するかわからない津波に対する正しい知識を身に付けておきましょう。

津波はどのようにして起きるか



- 気象庁が発表する「津波の高さ」とは、海岸付近の海面がどのくらい高くなるかをいいます。
- 津波が、海岸から内陸へ駆け登ることを遡上そじょうこうといい、ときには数十メートルに及ぶことがあります。この高さを遡上高そじょうこうといいます。
- 津波の高さは、海岸や湾の地形によって予想された数倍に達することがあります。予想される津波の高さが低くても油断は禁物です。

津波警報・注意報の種類と取るべき行動

気象庁は、津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後、約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報を発表します。その後、「予想される津波の高さ」、「津波の到達予想時刻」等の情報を発表します。

大分県瀬戸内海沿岸に津波警報・注意報が発表されたら直ちに身を守る行動を取ってください。

種類	気象庁の発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の場合の発表	
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	○木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。 ○沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や津波避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
		10m (5m<予想高さ≤10m)		
		5m (3m<予想高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	○標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 ○沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や津波避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	○海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだなどが流失し小型船舶が転覆します。 ○海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

引用:気象庁ホームページ

津波の特性と避難行動のポイント

- ❗ **水辺からすぐに離れる**
津波注意報であっても水辺は危険。ただちに海岸や川べりから離れる。
- ❗ **津波の速度は速い**
津波の速度は非常に早く、目に見えてから逃げるのは間に合わない。
- ❗ **避難したら戻らない**
到達予想時刻が過ぎたり、第一波が引いたとしても、津波警報・注意報が解除され安全が確認されるまでは避難を継続する。
- ❗ **津波は何度も来る**
津波は一度だけでなく複数回襲来し、後から来る津波の方が高くなることもある。
- ❗ **津波は場所により高くなる**
津波は沿岸に近づき水深が浅くなるほど、急激に高くなる。また、V字型の湾や岬の先端など、地形の影響で局所的に高くなる。
- ❗ **津波は遠くからも来る**
津波は遠方の地震等によって発生することもある。日本近海の地震が伴わない津波警報・注意報にも注意する。

海拔表示板等



海拔表示板

海拔16m未満の電柱などに設置しており、設置地点の海拔及び津波避難場所を表示しています。



津波避難ビル標識

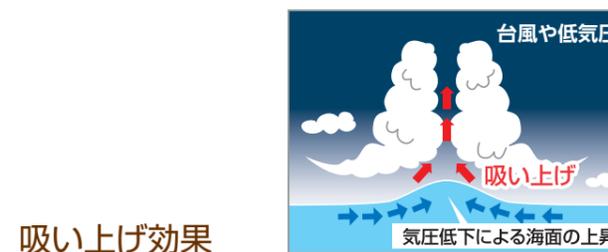
津波が発生した際に、一時的・緊急的に避難することができる建物に掲示しています。4階以上に避難してください。
 ※津波避難ビルの一覧は70ページに記載しています。

高潮対策

沿岸部では、台風発生時等に高潮についても注意が必要です。高潮の発生が予測される場合には、早めに避難しましょう。

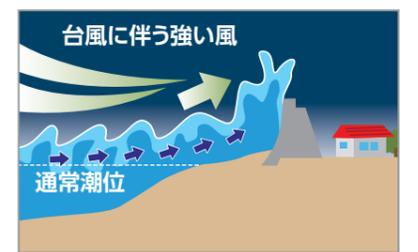
高潮が発生する仕組み

高潮とは、台風や発達した低気圧の接近により、海面が異常に高くなる現象です。高潮が発生するとその高い潮位と波浪・強風により、海水が堤防を越えるようになり、背後地が浸水する可能性が高くなります。また、高潮が発生している海域に流れ込む河川があれば、高い潮位や波浪により河川の流れが阻害されます。そのため、川沿いで「はん濫」が発生し、海岸から離れた内陸部にまで被害を及ぼすこともあります。



吸い上げ効果

台風や発達した低気圧の中心が接近すると、中心付近の気圧が低下し、海面が吸い上げられて上昇します。気圧が1hPa低下すると海面は1cm上昇します。例えば、950hPaの台風が接近すると、1000hPaだった時より50cm海面が上昇します。



吹き寄せ効果

台風による強い風が沖から海岸に向かって長時間吹き続けると、海水が海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が異常に上昇します。吹き寄せ効果は風速や海岸の状況により大きく異なり、V字型の湾の奥ほど高くなります。